

# CTIOS のデスクトップ：背景での保持方法

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

Cisco Unified Contact Center Enterprise 8.x の CTIOS エージェント デスクトップでは、エージェントがコールを受信すると CTIOS デスクトップが最前面に表示されます。このドキュメントでは、コールが着信したときに CTIOS デスクトップをバックグラウンドに保持する方法について説明します。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は Cisco Unified Contact Center Enterprise 8.x に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [手順](#)

Cisco Unified Contact Center Enterprise 8.x では、CTIOS エージェントがコールを受信すると、CTIOS デスクトップが最前面に表示されます。CTIOS デスクトップをバックグラウンドに保持する必要がある場合は、このセクションに示す手順を実行します。

これを行うには、[HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc.\CTIOS\

MainScreen キーのレジストリ値のリストは次のとおりです。

レジストリ値の名前	説明
BringToFrontOnCall	イネーブルな場合 ( 1 ) は、BeginCallEvent が発生したときに、ソフトフォン ウィンドウが他のすべてのウィンドウよりも前面に表示されます。
FlashOnCall	イネーブルな場合 ( 1 ) は、BeginCallEvent が発生したときに、タスクバー上のソフトフォン アイコンがフラッシュします。
Recording Enabled	[Record] ボタンが Agent および Supervisor Softphones でイネーブルであるかどうかを制御します ( 0 = デイセーブル、1 = イネーブル )。
AgentStatistics IntervalSec	Agent および Supervisor Softphones が time-in-state エージェント統計情報を更新する頻度 ( 秒単位 ) を制御します。

CTIOS デスクトップをバックグラウンドに保持するには、BringToFrontOnCall をゼロ ( 0 ) に設定する必要があります。この値はデフォルトで 1 に設定され、コール着信時に CTIOS デスクトップが最前面に現れます。

また、『[CTI OS System Manager Guide for Cisco Unified ICM/Contact Center Enterprise & Hosted](#)』も参照してください。

## 関連情報

- [CTIOS のインストール エラー](#)
- [CTIOS サイレント モニタリングが機能しない : イーサネット カード ドライバ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)